

南仏事件情報（2018年9月分）

1 テロ関連事件

11日、モントバン（タルヌ＝エ＝ガロンヌ県）及びベズィエ（エロー県）で男子中学生（16歳）と男性（共にチェチェニア系ロシア人）がIS礼賛の廉（テロ計画における兇徒の連合）で検挙され家宅捜索を受けた。中学生は、ソーシャル・ネットワーク上に掲載したビデオで、IS兵士に扮して「イスラム共和国」への合流希望を表明していた。両人はソーシャル・ネットワーク上で関係を有していた。

2 凶悪事件（殺人、強盗等）

●1日（土）午前5時30分頃、マルセイユ（BdR県）パリュ通り（6区）にあるディスコで、男4名が店員に入店を断られ、内1名が銃で店員を撃ち、足、背中及び腹部を負傷させた。

●2日（日）午前10時頃、ル・カネ（アルプ＝マリタイム県）サディ・カルノ通りにあるアパートで、男（31歳）が父親（78歳）、母親（61歳）及び妹（21歳）を刃物で刺し殺した。男は精神に障害を持っていた。

●2日（日）夜、マルセイユ（BdR県）ジャン・ジョレス広場（5区）で、男性（21歳）がフードやマフラーで顔を隠した男4名に連れ去られそうになったが、食料品店内に避難し逃れることが出来た。

●3日（月）午前7時20分頃、マルティエグ（BdR県）ライエット通りにあるマルティエグ総合病院駐車場で、男性（33歳）が妻を病院に連れてきたところ、覆面をした男2名に待ち伏せされ、射殺された。男らは車に乗って逃走した。現場には薬莖約30発が散乱していた。男性には暴行等の前科があった。

●3日（月）午後11時20分頃、マルセイユ（BdR県）フォシエ通り（2区）にある食料品店で、男性（53歳）が男に拳銃で胸部と頭部を撃たれて死亡した。殺された男性は暴行や窃盗等の前科と7つの偽名を有し、1,400ユーロの借金があった。後日、防犯カメラ画像により犯人が特定され、逮捕された。

●7日（金）午後9時頃、マルセイユ（BdR県）ロジェ・シウス通り（16区）路上で、男性（29歳）が椅子に座って水タバコを吸っていたところ、車両で現れた男4名に射殺された。内2名はカラシニコフ銃を使用し、現場には薬莖18発が落ちていた。その後、ル・ローヴ（BdR県）で、犯行に使用された車両と武器が焼かれた状態で発見された。殺された男性には強盗や薬物使用の前科があった。

●9日（日）午前5時頃、マルセイユ（BdR県）アルベール・ロンドル広場（2区）にあるディスコ前で、男性2名が何者かと喧嘩になり、回転式拳銃で撃た

れて負傷した。被害者2名は兄弟で、兄（34歳）はマルセイユの警察官、弟（26歳）はパリの警察官で、弟は休暇でマルセイユに来ていた。

●9日（日）午前、マルティエグ（BdR県）のキャンプ場で、男性が別の男と喧嘩になり、男に猟銃で撃たれた。弾は肺に当たったが、男性の命に別状はない。男は逃走中。

●9日（日）午後10時30分頃、マルセイユ（BdR県）ロジェ・サラングロ通り（15区）で、バー経営者の男性（42歳）が店を閉めて車に乗ったところ、何者かにカラシニコフ銃で射殺された。現場には薬莢約20発が落ちていた。本件は今年17件目の麻薬密売に関する報復事件。

●9日（日）深夜、ラ・セヌ＝スール＝メール（ヴァール県）ベルスのシテで、元サッカー選手の男性（20歳）と東欧国籍の少年（14歳）が覆面をした数名に射殺された。現場には2種類の薬きょう（1種類はカラシニコフ銃のもの）が落ちていた。本件は薬物密売に関する報復事件。

●9日（日）深夜、パラヴァ＝レ＝フロ（エロー県）で、覆面をした男4名が60代の夫婦宅に押し入り、刃物で夫婦を脅して現金約1,500ユーロ及び宝石を奪って逃走した。夫婦に怪我はなかった。

●11日（火）午後3時30分頃、マルセイユ（BdR県）フェリックス・ピヤ（3区）のシテで、男性（28歳）が覆面をした4名に銃で首や胸部を撃たれて病院に搬送された。男性の容態は重体。撃たれた男性は薬物に関する前科があった。

●11日（火）午後、マルセイユ（BdR県）スターリングラード広場（1区）で、男性（33歳）が男に刃物で脇腹と太腿を刺され、重体。犯人は警察に逮捕された。

●13日（木）午後、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）アルノー＝ベルナール地区で、男性（39歳）が何者かに鉄の棒等で殴られ、頭蓋骨、顔面や大腿骨を骨折し重体。本事件はタバコ密売に関する報復事件。

●14日（金）午前1時30分頃、ニーム（ガール県）ラシーヌ通りで、男（30代）が車両で人混みに突進して2名に軽傷を負わせ、付近にいた人達に取り押さえられて、警察に引き渡された。犯行当時、現場付近では祭りが開催されていた。

●15日（土）午後8時前、マルセイユ（BdR県）マドラグ＝ヴィル通り（15区）で、ショットガンと拳銃で武装した男2名が閉店直前のスーパーマーケット「リドル」に押し入り、男性3名の手足を撃って軽傷を負わせ、他の男性1名を銃で殴り、レジや金庫を荒らした。付近にあるノミの市にいたタバコの商人及び若者ら約20名が事件に気付き、命がけで仲裁に入り、犯人1名（アルバニア国籍、52歳）を取り押さえ、リンチを加えた。犯人は警察に逮捕されたが、負傷のため取調べを受けることが出来ず、病院に収容された。別の犯人1名は車両

で逃走した。現場にいたレジ係の女性2名が精神的なショックを受け、医師の治療を受けた。犯行に使用されたショットガンは現場に遺留されていた。同日深夜、マルセイユ市15区で、犯行車両が燃やされた状態で発見された。

●16日（日）午後5時30分頃、マルセイユ（BdR県）ヴェルデュロン（16区）にあるカフェで、男性（27歳）がテラスに座っていたところ、何者かに太腿を撃たれて負傷した。命に別状はない。撃たれた男性には薬物に関する前科がある。

●23日（日）午後4時30分頃、マルセイユ（BdR県）ロマン・ロラン通り（9区）で、覆面をした男2名がバー兼タバコ屋に押し入り、拳銃で店員を脅して4,200ユーロを奪って逃走した。

●27日（木）午前10時30分頃、ロデス（アヴェロン県）の総務副部長が市役所付近路上で男に刃物で数回刺されて死亡した。男性は主に市警察を担当していた。男は現場付近で逮捕された。男には前科があった。

●28日（金）午後、マルセイユ及び周辺（BdR県）で、強盗グループに対する一斉摘発が行われ、10名が逮捕され、カラシニコフ銃1丁及び小銃3丁が押収された。同グループは県内で強盗や監禁を敢行していた。

●29日（土）早朝、ヴロー（BdR県）で、男性（20代）が何者かに数発撃たれ、病院に搬送されたが脳死状態。

3 銃器・薬物関連事件

●3日（月）夜、マルセイユ・プロヴァンス空港（BdR県）で、カサブランカ発の飛行機で到着したチュニジア人の男（32歳）がスーツケース内にコカイン4kgを所持していた容疑で税関に逮捕された。

●4日（火）、ニーム（ガール県）で、大麻樹脂約300kgが警察に押収された。スペインから車両で輸送されてきた大麻樹脂がニームに到着した際、警察が容疑者4名を逮捕した。逮捕時、共犯者1名が車両を捜査車両数台に激しく衝突させ、塀を突き破って逃走した。

●4日（火）午後4時40分頃、マルセイユ（BdR県）ヴァロン・ドール通り（15区）で、少年（17歳）が薬物密売容疑で警察に逮捕された。少年は大麻樹脂250g及び現金60ユーロを所持していた。

●11日（火）マルセイユ（BdR県）ローリエ（13区）のシテで、男（18歳）が薬物密売容疑で警察に逮捕され、大麻樹脂1.3kg、コカイン32g、現金510ユーロ、携帯電話及び会計書類が押収された。

●11日（火）、パンサゲル（オート＝ガロンヌ県）にある郵便局で、トゥールーズ在住の男（40歳）が拳銃入りの小包を受け取ったところ、税関に逮捕された。男がインターネットでアメリカにいる密売人に拳銃1丁を注文した際、アメリ

カの治安機関が拳銃の密売を察知し、仏当局に連絡した。

●12日（水）午後、ニース（アルプ＝マリタイム県）サン＝ティジドールにある高速道路（A8）料金所で、男4名及び女1名（全員30代）が車両内に大麻樹脂132kgを所持していた容疑で逮捕された。犯人らはスペインから薬物を運び、同市アリアーヌ地区に向かっていた。

●17日（月）、マルセイユ（BdR県）サン・ルー（10区）の団地で、男（27歳）が客の男に薬物を密売しようとしたところ、警察に逮捕された。客の男は逃走した。密売人の男はバッグ内に大麻樹脂32g及び現金190ユーロを所持しており、薬物密売の前科があった。

●18日（火）午後、モンペリエ（エロー県）サン＝ポール（ラ・パイヤード地区）にあるショッピングセンター周辺で、警察による薬物一斉取締りが行われ、大麻等を所持していた若者5名が逮捕された。

●18日（火）、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ジョルジュ＝デュハメル通り（ベルフォンテーヌ地区）で、警察による薬物対策の一斉摘発が行われ、アパート内からコカイン1kg及び大麻樹脂21kgが押収され、同所にいた女（33歳）が逮捕された。

●18日（火）午後、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）イザール地区で、男（22歳）が薬物密売容疑で警察に逮捕された。男は大麻樹脂170g、大麻50g、コカイン少量及び現金千ユーロを所持していた。

●18日（火）夕方、マルセイユ（BdR県）レスタック（16区）にあるマクドナルドのドライブスルーで、数名乗車の車両1台が現れ、乗員の内1名が拳銃を見せびらかした後、逃走した。乗員らは酒に酔っていた模様。

●19日（水）午前3時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）クロワ＝ドラード地区で、男（22歳）がコカイン30gを所持していた容疑で警察に逮捕された。

●19日（水）、マルセイユ（BdR県）クロット地区（15区）で、警察による薬物密売に関する一斉摘発が行われ、7名（20歳から30歳）が逮捕され、コカイン200g、大麻樹脂8kgと現金1万5千ユーロが押収された。

●20日（木）、マルセイユ（BdR県）モールレット（15区）のシテで、コカイン製造工場が発見され、10名が逮捕され、コカイン12kgが押収された。コカイン製造工場として利用されていたアパートは臭いが漏れないように隙間が目張りされ、プレス加工機3台が設置されていた。

●20日（木）午後、ヴィルヌーヴ・レ・マグローヌ（エロー県）にある刑務所の面会室で、持込み禁止物件の所内への持込みを防止するため、憲兵隊による面会者に対する所持品検査が行われ、薬物を所持していた女2名が逮捕された。1名はズボンのベルトに大麻樹脂22gを隠匿し、別の1名は下着内に大麻樹脂

25g を隠匿していた。

●22日（土）、マルセイユ（BdR 県）シャルル＝プリュミエ通り（2区）にある建物の地下室からカラシニコフ銃1丁、ショットガン2丁、ライフル1丁、回転式拳銃1丁と自動式拳銃1丁が警察に押収され、男3名が逮捕された。

●26日（水）までにリュイヌ（BdR 県）にある刑務所内の薬物密売組織が解体された。本事件に関して8名（少なくとも2名の囚人を含む）が逮捕され、大麻樹脂数百グラムと拳銃1丁が押収された。数キロの薬物（大麻及びコカイン）が刑務所内に持ち込まれていたものと推定された。

4 交通事故

●4日（火）午後9時45分頃、マルセイユ（BdR 県）メルラン通り（14区）で、無免許の男性（27歳）がオートバイを高速度で運転し、対向車両と衝突し、数十m投げ飛ばされた。男性の容態は重体。車両の運転手の薬物検査結果は陽性だった。

●7日（金）、マルセイユ（BdR 県）クール・ピエール・ピュジェで、女性（30歳）がスクーターで大型トラックに衝突して死亡した。

●10日（月）午前10時頃、カヴァイヨン（ヴォークリューズ県）の幹線道路（D900）で、車両4台が絡む交通事故が発生し、7名が負傷（内3名は重傷）した。

●11日（火）午前10時頃、マルセイユ（BdR 県）アンペール通り（14区）で、スクーターで通勤途中の警察官が交通事故に巻き込まれ、重傷を負った。

●16日（日）午後9時頃、カバンヌ（BdR 県）の高速道路（A7）で、車両がオートバイに衝突し、オートバイを運転していた男性（60代）が死亡した。車両の運転手は飲酒運転をしていた。

●19日（水）午前4時頃、マリニャンヌ及びヴィトロル（BdR 県）間の幹線道路（D20）で、歩行中のアルジェリア人男性（76歳）がトラックに撥ねられて死亡した。

●25日（火）午後8時15分頃、マルセイユ（BdR 県）ポン＝ド＝ヴィヴォー通り（10区）で、女性（77歳）がスクーターに撥ねられ、重体。スクーターの運転手は逃走した。

●26日（水）午後8時頃、オルゴン（BdR 県）の踏切で、列車が車に衝突し、車の乗員2名が軽傷を負った。列車に乗客はいなかった。

5 その他の事件

●1日（土）午前4時30分頃、マルセイユ（BdR 県）ユヴォーヌ通りで、酒に酔った男2名（ともに19歳）が駐車車両15台のサイドミラーを破壊し、駐車されていたオートバイ数台を転倒させ、警察に逮捕された。

- 2日（日）夕方、マルセイユ（BdR 県）コロ（13 区）にあるシテで、住民による窓からゴミを投げ捨てる行為を巡って乱闘が発生し、2 名が軽傷を負い、8 名が警察に逮捕され、刃物が押収された。
- 3日（月）、マルセイユ（BdR 県）サン・ポール通り（13 区）で、男 4 名がパン屋の裏口をこじ開けようとしていたところ、警察に発見されて逮捕された。
- 4日（火）午前 4 時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ペシュ＝ダヴィドの展望台で、男性（45 歳）と女性（23 歳）が転落し、消防に救助された。2 名とも負傷したが、命に別状はない。
- 4日（火）午後 5 時 40 分頃、ポーソレイユ（アルプ＝マリタイム県）ポール・ドゥメ通りにあるアパートで、変な臭いがする旨の通報を受けて臨場した消防が息子（50 代）と母親の遺体を発見した。遺体は腐敗が進行していた。死因については捜査中。
- 6日（木）午前 3 時頃、マルセイユ（BdR 県）クール・ジュリアン（3 区）で、男（26 歳）が防犯カメラの支柱を登り、防犯カメラに黒色スプレーを吹き付けたところ、駆けつけた警察官に逮捕された。男はスプレー 7 本を所持していた。
- 6日（木）午後 4 時頃、モンペリエ（エロー県）クール・ガンベッタで、モロッコ国籍の少年 2 名（16 歳と 17 歳）が通行人からネックレスをひったくり、警察に逮捕された。4日（火）、サン・ロッシュトラム駅付近で、別のモロッコ国籍の少年 2 名が同様の手口でネックレスをひったくり、警察に逮捕された。
- 7日（金）午後 8 時 45 分頃、モンペリエ（エロー県）シャルル・ド・ゴール広場で、男性 3 名（内 2 名は高校生）が刃物、瓶や石等で武装したアルバニア国籍の若者約 15 名に襲われて負傷した。若者のうち 3 名が警察に逮捕された。
- 8日（土）午後 9 時 30 分頃、モンペリエ（エロー県）コルムで、男性が少年（17 歳）に携帯電話を盗まれたが、被害者の兄弟に追跡され、警察に逮捕された。
- 9日（日）午後 5 時 30 分頃、ヴィルテル（エロー県）で、野火が発生し、約 2 ha が焼失した。出火原因は捜査中。
- 10日（月）午前 7 時 50 分頃、ラ・グランド＝モット（エロー県）ポワン・ゼロ海岸で、女性（64 歳）が水深 20cm の海中で死亡しているのが散歩している人に発見された。女性は付近の医療施設に入所していて、9 日午後 9 時に同施設から外出していた。
- 10日（月）午前 9 時 50 分頃、トゥレット＝ルヴァン（アルプ＝マリタイム県）プラン・ダリウ通りで、酒に酔った男（49 歳）が大弓を持って現れ、小学校の鉄柵越しに校内に向かって怒鳴り散らして脅迫し、警察に逮捕された。
- 14日（金）午後 5 時頃、ペンネ＝ミラボー（BdR 県）にある廃棄物処理会社の敷地で火災が発生し、約 5 千平方メートルが焼失したが、周辺への延焼はな

かった。

●15日（土）午前2時頃、グラス（アルプ＝マリタイム県）路上で、男2名が殴り合いになり、1名がもう1名に刃物で刺されて負傷した。命に別状はない。刺した男は逮捕された。

●16日（日）午前4時頃、マルセイユ（BdR 県）ベルスンス（1区）で、消防士が現場臨場したところ、現場にいた男に顔面を殴られて負傷した。男は逮捕された。

●16日（日）午前5時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）サン＝シプリアンで、男2名が駐車車両の窓ガラスを割り、車内を物色し逃走した。その後、男2名は警察に逮捕された。

●16日（日）午後2時～午後4時、マルセイユ（BdR 県）ヴァランティンヌ（11区）、サン＝タントワンヌ（15区）、グランド＝リトラル（16区）及びテラス＝デュ＝ポール（2区）で、警察による交通一斉取締りが行われ、オートバイでウィリー等の暴走行為をした未成年者や若者13名が逮捕された。

●16日（日）夜、マルセイユ（BdR 県）地下鉄フレ＝ヴァロン駅付近（13区）で、何者かが地下鉄車両に投石し、窓ガラスにひびが入った。

●16日（日）、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）地下鉄ジャン＝ジョレス駅付近で、男2名（共に22歳）が列車内で折りたたみナイフを所持していた容疑で警察に逮捕された。

●17日（月）午前8時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ロラゲ通りで、男性（36歳）が駐車中の車内で死亡しているのが通行人に発見された。男性の死因は不明で、解剖される予定。

●18日（火）、マルセイユ（BdR 県）で6名が自動車窃盗等の容疑で警察に逮捕された。犯人らは7月31日深夜、マルセイユ港の駐車場に金網を破って侵入し、輸出前の新車6台を窃取した。犯人2名は15歳の少年で、見張り役をしていた。盗まれた車両の内4台はフランスで、1台はイタリアで発見された。

●18日（火）正午、カシ（BdR 県）カナユ岬で、土砂崩れが発生したが、人的被害はなかった。

●18日（火）夜、モンペリエ（エロー県）マグローヌ通り（エクッソン地区）で、モロッコ国籍の男が通行人の金製ネックレスを奪い取って逃走した。男は警察官に追跡され、線路内を逃走したが、モンペリエ＝サン＝ロッシュ駅付近で逮捕された。

●19日（水）午前9時頃、セイス（オート＝ガロンヌ県）にある刑務所の独房内から出火したが、房内にいた男性（22歳）は看守に救助された。火は看守によって消火された。出火原因は捜査中。

●27日（木）午前10時45分頃、モンペリエ（エロー県）ラ・パイヤード地区

にある高校付近で、若者約 20 名による乱闘が発生し、2 名が刃物で刺されて負傷した。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。